

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月25日

計画の名称	北秋田市における安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	北秋田市													
計画の目標	下水道施設の長期的な改築事業計画に基づく改築・更新および耐震対策を行い、安全・安心な住環境の実現に努める。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		145	A	145	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	長期的な改築事業計画に基づき早急に改築・更新が必要な設備等に対し、改築・更新した設備等の割合を0.0%（H28当初）から100.0%（H32末）に増加させる。 下水道施設の長期的な改築事業計画に基づき早急に改築・更新が必要な設備における改築・更新実施率 改築・更新した設備数（箇所） / 改築・更新を必要とする設備数（箇所） × 100	0%	0%	100%
2	未耐震化施設のうち早急に耐震対策を講じる必要がある施設等に対し、耐震化した施設等の割合を0.0%（H28当初）から100.0%（H32末）に増加させる。 未耐震化施設のうち早急に耐震対策を講じる必要がある施設における耐震化実施率 耐震化を実施した施設数（箇所） / 耐震化を必要とする施設数（箇所） × 100	0%	33%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	終末処理場	改築	鷹巣浄化センター	耐震化工事他	北秋田市						51	-	
		地域種別：過疎																	
	A07-002	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	終末処理場	改築	米内沢浄化センター	耐震化工事他	北秋田市						65	-	
		地域種別：過疎																	
	A07-003	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	終末処理場	改築	鷹巣浄化センター	改築事業工事他	北秋田市						18		策定済
		地域種別：過疎																	
	A07-004	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	終末処理場	改築	米内沢浄化センター	改築事業工事他	北秋田市						11		策定済
		地域種別：過疎																	
												小計					145		
												合計					145		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
北秋田市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施する。	令和4年3月
	公表の方法
	北秋田市ホームページにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	北秋田市の防災・減災・安全な市街地の実現を寄与するため老朽化した下水道施設の改築更新を計画的に行うことにより、事故を未然に防止し、安全性を向上させた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画において定量的指標を達成することができた。今後も、ライフサイクルコストの最小化を図るため、下水道施設の計画的な改築更新を行い、施設の持続的な管理・運営を図るとともに、北秋田市の防災・減災・安全な市街地の実現に寄与していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	改築・更新した設備数（箇所） / 改築・更新を必要とする設備数（箇所） × 100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	耐震化を実施した施設数（箇所） / 耐震化を必要とする施設数（箇所） × 100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%